

## 政策提言の要旨

### 背景

⇒市の計画や政策に市民の意見が十分に反映されていない

### 現状分析

⇒美濃加茂市では築60年経過した庁舎の建て替えを計画  
⇒建設地は令和3年度に4箇所の候補地の中から駅の南周辺に決定  
⇒令和4年1月の市長選挙で市長が交代し、建設予定地について市民との合意が不十分であるとして白紙

### 課題抽出

**広聴の課題**  
⇒政策立案段階において多くの市民から意見を聴く機会が乏しい  
⇒市民が市に対して意見する手法のハードルが高い

**広報の課題**  
⇒広報紙が若い世代に読まれておらず、HPは全世代の利用率が低い  
⇒市からの一方的な情報提供「お知らせ」が多い

### 方向性

⇒幅広い層の市民に対して市政に興味を持ってもらうための広報を行う  
⇒政策立案段階で広く市民の意見を聴き政策に反映する仕組みを構築する

### 事例考察

**広報事例：神奈川県三浦郡葉山町**  
⇒市民に読まれ、市民の行動につながる広報紙

**広聴事例：神奈川県座間市**  
⇒LINEを活用した市民参画

### 政策提言

**広報の提言**  
⇒「お知らせ広報」から「政策広報」への転換  
⇒市民の判断材料となる情報の発信  
⇒LINEを活用したプッシュ型の情報発信

**広聴の提言**  
⇒アーリー・パブリック・コメントの実施  
⇒LINEを活用した意見聴取の実施  
⇒制度の条例化

### 効果

⇒政策広報による市民の関心度UP  
⇒政策立案段階での市民意見の反映  
⇒市長、議会の市民意見の尊重による政策安定  
⇒広報・広聴による市民満足度（愛着）の向上

# 【第2班】

## 政策提言の概要



政策提言  
の要旨

過疎化が進む中山間地域における  
持続可能な観光まちづくりの推進  
～こみのケーションプロジェクト～

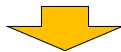
現  
状

- ① 小蓑地区の限界集落化
- ② 小蓑地区の資源
- ③ 地元の団体による地域活性化に向けた取り組み
- ④ 観光客が少ない



課  
題

- ① 観光客を受け入れる体制整備
- ② 魅力的な観光商品の開発・周知



提  
言

こみのケーションプロジェクト

小蓑地区住民が中心となって観光客を受け入れる体制づくり

- ① 魅力的な観光商品開発
- ② 効果的なPR
- ③ 持続可能なプロジェクトに



効  
果

- ① 観光客増加による地域経済の活性化
- ② 地域住民の生きがい、郷土愛の醸成
- ③ 交流人口の拡大による集落機能の維持

◎観光振興を起爆剤に10年後、20年後も小蓑地区が存続する

## 政策提言の要旨

### 現状分析

- 瑞浪市では、人口減少、少子高齢化が進んでおり、中でも生産年齢人口は大幅な減少傾向にある。
- 「美濃焼」に代表される地場産業の陶磁器産業をはじめとした、中小ものづくりのまちである。
- 名古屋市や大企業が立地する近隣へ、労働力が流出している。
- 全国的にみても有効求人倍率が高く、人手不足が顕著である。
- 国、県、瑞浪市でも雇用確保のための施策は行っているが、未だ効果は見えない。

### 課題抽出

- 課題1 労働力の市外流出
- 課題2 若者の転出が多く新規採用が困難
- 課題3 潜在的な労働者の確保が困難

### 目標設定

- 地元企業が安定して働き手を確保でき、持続可能な経済活動が行われ、地域の活性化につながっている。

### 課題解決の方向性

- 中小・小規模企業の強みである伝統や技術力を効果的に発信し、市民等に地元企業の魅力を認識してもらうことにより、企業の労働力の確保や企業イメージの向上につなげていく。

### 事例考察

- 鎌倉市企業・求人求職情報発信サイト「鎌倉worker's station」【鎌倉市】
- やまぐちしごと応援サイト【山口市】
- カメジョブキッズ【亀山市】
- 亀山市雇用対策協議会【亀山市】

### 政策提言

- ～提言1～
- 企業情報ポータルサイトによる情報発信
- ～提言2～
- 特典付き企業見学・体験会
- ～提言3～
- 雇用対策協議会の設置

### 成果と効果

- (短期)ポータルサイトのアクセス数 3,000件/月
- (中長期)有効求人倍率の全国平均化

## 【第5班】

### 新潟県十日町市（松代地域）への政策提言の要旨

#### 現状分析

- 1 人口減少や少子高齢化が進行しており、生産年齢人口が減少している。
- 2 基幹産業である農業の従事者が15年間で約4割減少している。
- 3 平坦地等条件の良い場所では法人化により担い手への農地集積が進んでおり一定程度の成果が出ているものの、条件の悪い山間地では小さい農地が点在しており、農地集積や担い手の確保が厳しい環境となっている。
- 4 松代地域では、新規就農者が少ない中、65歳以上の農業者が耕作している108.9haの農地において後継者が未定となっている。
- 5 新規就農者向けの研修など、支援体制の充実が必要となっている。
- 6 松代地域には「つなぐ棚田遺産」に選出された知名度の高い棚田や、大地の芸術祭等、他の地域にはない農業資源や地域のブランド力がある。



#### 課題抽出

十日町市では、市の各部署や各民間組織等が個別に移住定住及び就農支援の取り組みを実施しており、情報が一元化されていないため、農業の担い手確保が十分に進んでいない。他の地域にはない農業資源や地域のブランド力を活用しながら、移住者等を広く取り込み、松代地域における将来的な農業の担い手確保につなげていく取り組みが必要である。



#### 政策提言

移住定住による外部からの新規就農者確保が困難な状況であることから、交流人口等も含めて農業に携わるあらゆる人を「担い手」と捉え、短期・中期・長期のニーズに沿った農業体験や就農支援等を盛り込んだ「**選べる『農』LIFE～まつだい就農スタートパッケージ～**」を提供するとともに、既存地元協議会を活用することにより、農地保全及び将来的な農業の担い手（新規就農者、後継者）確保につなげる。

- 「選べる『農』LIFE～まつだい就農スタートパッケージ～」の作成
- 実行組織である既存地元協議会の活用
- PRの実施



#### 政策効果

基幹産業である農業を中心に多様な担い手を確保することにより、地域全体の活性化を図り、地域コミュニティの創出につながる。



## 提言の要旨

### ひたちなか市の概要

- (1) 市の概要
  - 位置・面積・人口・交通・産業
- (2) 高齢者の分析
  - 高齢化率・独居高齢者世帯・要介護要支援認定者

### ひたちなか市の現状と課題

- (1) 高齢者の活動状況
- (2) 社会参加の意向
  - 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」（令和元年度実施）より
- (3) 社会参加できていない理由
  - 東京都「男女平等参画に関する世論調査」（令和2年度調査）より
- (4) 課題
  - 現状からの分析

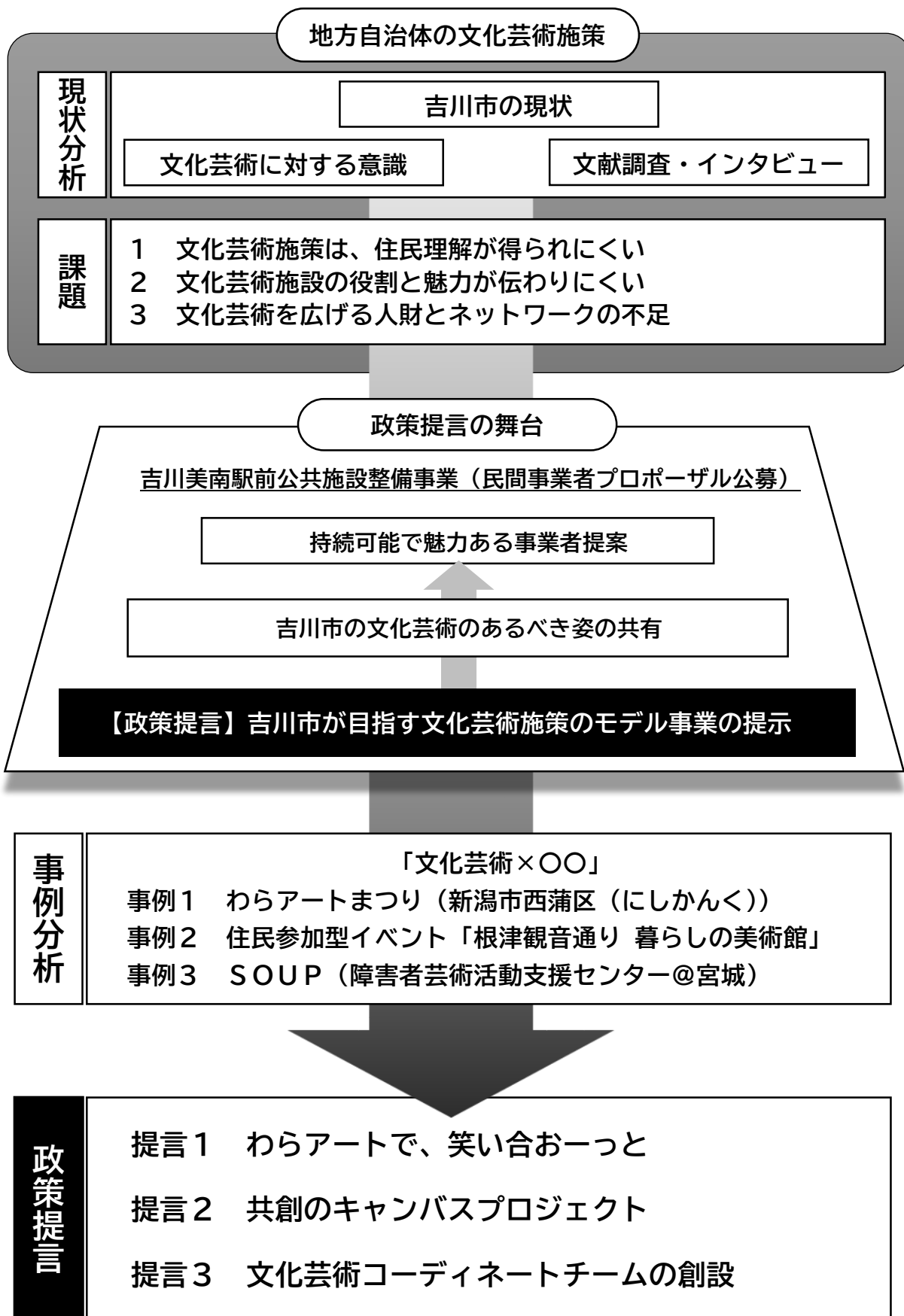
### 課題解決方法と 他自治体での取組事例

- (1) 解決策の検討
  - ひたちなか市や茨城県における既存事業の考察
- (2) 先行取組事例
  - 先行自治体市の取組からの考察

### 政策提言

- (1) 「ほし芋んポイント」の導入
  - 制度概要・ポイント対象事業・ポイントの使い道・運用体制・制度普及方法・制度導入にかかる概算費用
- (2) 「ほし芋んポイント」の導入スケジュール
  - 令和7年度まで
  - 令和10年度まで
- (3) 到達目標と政策効果
  - 生きがいの見える化による社会参加の促進と健康の増進
  - 市民の利便性の向上と事業周知の効率化
  - 地場産業とまちの活性化
- (4) その後の展開

政策提言の概要



## 【第8班】

### 政策の提言の概要

現 状	①蒲郡市全体の人口減少傾向より顕著に減少 ②蒲郡市内の他の観光地より観光客の減少が顕著 ③駅周辺における低未利用地の存在
--------	--

課 題	①人口減少によるまちの衰退 ②観光客減少による地域経済の停滞 ③公共施設再編に伴う遊休施設の活用 ④志をもつ地元団体の育成
--------	--

提 言	①地元住民及び観光旅行者が発信・発掘するSNSを活用したプロモーション ②指定管理者制度を活用した地元育成型ワーケーション
--------	--

効 果	①認知度向上及びリピーター増加 ②地域に根付く地元団体活動の活性化 ③地域経済の活性化及びシビックプライドの醸成
--------	--

### はじめに

世界を一変させた新型コロナウイルス感染症をはじめ、ロシアのウクライナ侵攻、一刻の猶予も許さない気候変動問題など、日本は、これまでの延長線上にない社会課題の中にある。これら世界的な社会課題は、国内において人口減少・少子高齢化や、経済情勢等の悪化に拍車をかけている。災害大国でもある日本にとっては、国内外の難局が同時に、そして複合的に押し寄せている状況である。国は、この難局を乗り越えるため、令和4年6月7日に「経済財政運営と改革の基本方針2022」を公表し、社会課題の解決に向けた方策を示している。その中には『関係人口の拡大と個性を活かした地域づくり』について、関係人口の創出・拡大や二地域・多地域居住、地方でテレワークを活用することによる「転職なき移住」を推進する方針を示しており、地方創生に係る取り組みは引き続き重点項目のひとつと位置付け、施策を推し進めている。一方で、地方都市では、人口減少と少子高齢化に歯止めがきかず、地域の公共交通の維持などが難しい局面となっており、各自治体において、まち・ひと・しごと創生総合戦略、立地適正化計画、公共施設等総合管理計画を策定し、持続可能なまちづくり・まちの魅力創出に取り組んでいるところである。

このように、人口減少対策に各自治体が危機感をもって施策を推進している中、本班では平成20年頃から緩やかな人口減少が進んでいる蒲郡市について、その中でも特に、天然温泉・海のレジャー等のポテンシャルがありながらも、人口減少率が高く、地域の公共交通の維持などが難しい局面にさしかかっている西浦地区に着目した。本地区での人口動態を分析し、一方で同地区において公共施設の再編に動き出していることを追い風ととらえて、地域資源を活かした複合的なまちづくり・地域の活性化に向けた関係人口を活用するための政策提案を行うこととした。



# 政策提言の要旨

## 現状分析

- 「都心のベッドタウン」として人口増加
- 道路・鉄道等の交通網の充実
- 大型商業施設の立地

## 課題抽出

- 「都心のベッドタウン」が価値を持たなくなったとき「三郷市であること」の意義がなくなる

知性を高め、想像力を豊かにし、人間性を育む効果がある「読書」を通じ、内面的な豊かさを高める取組を実施しているものの、さらなる取組強化が必要

今後のまちづくりに必要なのは  
「物質的な豊かさ」よりも「内面的な豊かさ」

「読書」の取組は他のまちにはない「**違い**」になり得る

## 政策提言

他にはない「日本一の読書のまち三郷」の取組を強化し、市民が魅力を感じ誇りを持てるまちに成長していく

### ①読みたくても読めない人へ 「『読書』に触れる機会を」

- ・ オーディオブックの導入
- ・ BOOK 自動貸出機の設置

### ②読書に関心のない人へ 「『読書』に触れるきっかけを」

- ・ 「読書」にまつわるイベントの創出
- ・ 「地域ポイント」の導入

### ③魅力を感じていない人へ 「行きたくなる図書館を」

- ・ 図書館のイベントの拡充
- ・ 図書館の機能の強化

## 政策の効果

他のまちとの「**違い**」が強まる  
「日本一の読書のまち三郷」を市民が誇りに感じる

「三郷に住んでよかった」と思う人が増加する

市民が  
幸せになる

まちが成長する

# 【第10班】

## 政策提言の概要

現状分析	<ul style="list-style-type: none"><li>・幸手市の概要</li><li>・幸手市と水害</li><li>・災害対応</li><li>・市民の防災意識</li></ul>
------	--



課題抽出と課題解決の方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>①行政にかかる課題<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の防災意識の向上 → 平常時から危機意識の醸成</li><li>・職員負担の平準化</li><li>・参集職員の役割の明確化</li><li>・緊急時の市外在住職員の参集</li><li>・利根川決壊時の避難場所の確保</li></ul></li><li>②市民の防災意識にかかる課題<ul style="list-style-type: none"><li>・市民の自助・共助の醸成</li><li>・市民の避難率の向上</li><li>・利根川決壊時の避難意識</li></ul></li></ul> <p>→ 抜本的な職員体制の見直し</p> <p>→ 身近で長時間避難できる場所の確保</p> <p>→ 自発的に避難行動をとる効果的な施策の実施</p>
---------------	--



政策提言	<ul style="list-style-type: none"><li>①行政にかかる提言<ul style="list-style-type: none"><li>・平常時からの効果的な職員研修及び水害訓練等の実施</li><li>・長期災害対応を可能とする職員体制の構築</li><li>・近隣自治体との初動期における職員相互応援体制の構築</li><li>・一時避難場所に民間の中高層建物を追加指定</li></ul></li><li>②市民の防災意識にかかる提言<ul style="list-style-type: none"><li>・複合的な防災イベントの企画・開催</li><li>・世代を超えた避難経路マップの作成・配布</li><li>・防災アナウンスの見直し</li></ul></li></ul>
------	--



政策目標	幸手市の水害に対する効果的でスムーズな対応の構築により、幸手市民の命を守る。
------	--

## 政策提言の要旨

### 背景

- 地方分権改革・住民ニーズの多様化による業務量増大
- 行財政改革による職員の減少
- 定年延長制度の実施による高齢職員の増加

- 職員 1 人当たりの業務量の増加
- 業務の複雑化、高度化
- 自治体 DX の推進

### 富津市の現状・課題

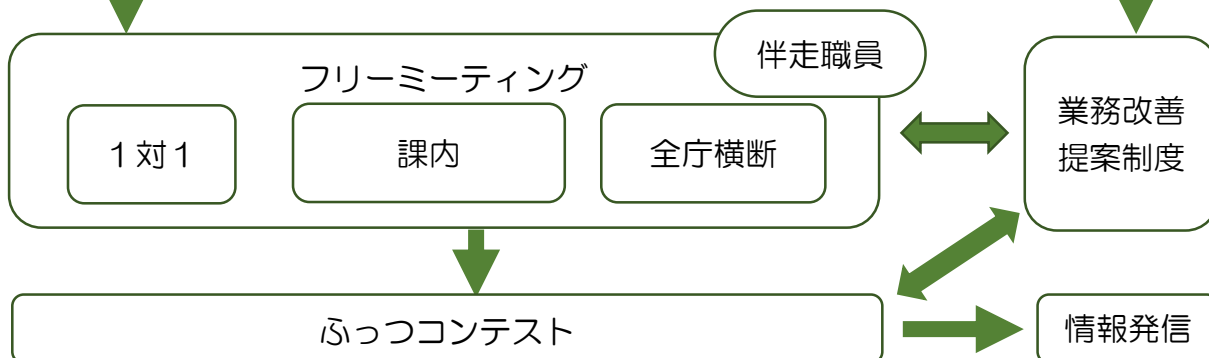
#### 【現状】

- ・懸案事項に取り組めていない

#### 【課題】

- ・既存業務の効率化（懸念事項に取り組む時間の確保）
- ・職員の業務負担の増加（業務の偏り）
- ・職場内で活発な意見交換ができない

## 政策提言



### 効果

- ・職員のコミュニケーション能力の向上
- ・タテ・ヨコ・ナナメのミーティング実施による組織力の向上
- ・積極的な職員の業務改善提案による業務効率化、スリム化

## 【目指す姿 ポジティブな職場】

- ・心理的安全性が確保された何でも言い合える良好な職場風土！
- ・積極的な職員提案による業務改善で、住民サービスの向上！

## 政策提言の要旨

